

2022年2月OPEN なかがみ地域包括センター

5F ~ 3F

介護付き有料老人ホーム なかがみ苑

2F

看護小規模多機能型居宅介護 愛貴
敬和医院

1F

通所リハビリテーション ちばな
居宅介護支援事業所 なかがみ
訪問看護ステーションなかがみ



なかがみ地域包括センター開設にあたり

敬愛会が40年前に中頭病院を設立した時は、医局員7名（100床）でのスタートでした。当時は団塊ジュニア世代が続々と生まれている時代でしたが、中部地区で小児科医療を提供しているのは県立中部病院と3ヵ所の小児科無床クリニックだけでした。

当然ながら小児科の患者が多く、5階の35病床をほぼ小児科だけで使用していましたので、開院当時は“中頭小児科病院”と言われたものです。その後外科医が増員するにつれ、“中頭外科病院”と評価されるようになり、さらに内科医局員が増えるにつれて病床も※336床まで増床し、20年程で救急医療が始まり現在の中頭病院の原型が出来上がりました。（※令和4年2月1日現在355床）

20年前にはちばなクリニックを開設しましたが、その時は団塊の世代が50代に突入し、生活習慣病が問題になった頃です。生活習慣病は多科受診する事が多いため、それを求める患者心理にマッチして、当初から1日千人近い受診がありました。中頭病院の入院患者の多くがちばなクリニック経由ということも開設以来変わりません。

さて、本年2月1日に“なかがみ地域包括センター”をオープンしました。

医療提供体制に多大な影響を及ぼす人口動態の波は、2025年には団塊の世代が後期高齢者に突入し、うねりとなって今後要介護者が増えるのは確実です。

「要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで続けることができる」という地域包括ケアの考え方に基づき、センター内には①介護付有料老人ホーム（個室60室）、②有床診療所（包括ケアに資する病床19床 ※一般病床）、③看護小規模多機能型居宅介護（9床）、④訪問看護ステーション、⑤居宅介護支援事業所、⑥通所リハビリテーションを配しています。

敬愛会グループはこれまでの急性期医療や外来および予防医療部門に加えて、患者さんが求める在宅系医療と生活支援サービスを提供することで、今後とも地域医療にさらなる貢献を目指す所存です。

社会医療法人敬愛会 理事長 宮里 善次





院長 大山 朝弘

敬和医院

令和4年2月1日より敬和医院を開院しました。敬愛会では、中頭病院、ちばなクリニックに続く医療施設です。

敬和医院は有床診療所で、19床の入院ベッドを確保しています。状態は落ち着いてはいるけれども入院管理を必要とする方や、急性期の治療が終わり、その後の継続的治療を入院で行わなければならないような方を、受け入れる予定です。

中部地区は常に救急医療体制が逼迫し、地域の主要病院への入院も困難になる状況が持続している地域です。そのような中で、当院の開院がその切迫状況の緩和の一助になることができればと考える次第です。微力ではございますが、地域の皆さまに愛され、そして、地域に貢献できるように、職員一同尽力していく所存です。敬和医院をどうかよろしくお願い申し上げます。

診療時間 (受付時間)	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00 (8:30~11:30)	●	×	×	●	●	×
午後 14:00~17:30 (13:30~17:00)	●	●	●	●	●	—

休診日 / 火曜午前・水曜午前・土曜日・日曜日・祝日

通所リハビリテーション ちばな

令和4年2月1日より「ちばなクリニック」から「ながみ地域包括ビル1F」へ移転しました。新しい施設の機能に合わせリハの内容をリニューアルし、これまで同様、利用者ご本人の充実した生活の持続、ご家族の介護負担軽減のため利用者さんの体力の維持と自立を支援します。



士長 安里 幸健

👍 リニューアルのポイント

- ・ 広い空間で伸び伸びとした運動を実践します
- ・ 体力作りを強化します。(レッドコード / パワーリハビリ 2機種を **新規導入**)
 - * 体幹や腕：レッドコードを使った体操
 - * 足腰強化：平行棒を利用したロコモ体操 (立ち座り / 足踏み / つま先立ち)

レッドコード



天井から下げられた赤いロープを使って行う運動療法

パワーリハビリ



レッグプレス
下肢全般に！



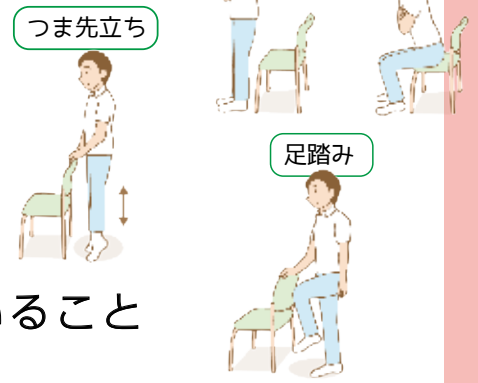
ニューステップ
姿勢改善に！



ローイング
体力向上に！



ロコモ体操



👍 グループ内のコミュニケーションで相乗効果を導きます

利用者様の**したいこと**や**在宅生活**で困っていることなどを具体化し**在宅生活**を支援します

住み慣れた自宅での療養を支える

看護小規模多機能型居宅介護

愛

あい

貴

き

■ 看護小規模多機能型居宅介護って何？

看護小規模多機能型居宅介護（看多機）とは、要介護状態となっても、可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、その療養生活を支援し心身の機能の維持・回復、生活機能の維持・向上を目指すための介護保険サービスです。

看多機が提供する4つの介護サービス

訪問看護

看護師が利用者のご自宅に伺い、健康観察や医師の指示書に基づく医療処置を行う



訪問介護

介護スタッフが利用者のご自宅に伺い、入浴や排泄の介助の他、掃除や調理などを行う



通い

(デイサービス)

看多機事業所内で、食事や入浴、リハビリなどをして過ごすサービス



泊まり

(ショートステイ)

看多機事業所内で、夜間を過ごすサービス



看護師、介護福祉士の他、多職種協働で24時間、365日体制で切れ目のない支援を提供します。緊急時は、看多機での泊まり（ショートステイ）はもちろん、ご自宅でも対応します。

対応できる医療ケア

- ✳ 医療処置の必要な方
 - 胃ろう・気管切開、人工肛門などの管理、インスリン注射、カテーテルの交換、点滴、褥瘡（床ずれ）ケアなど
- ✳ 認知症の方
- ✳ リハビリが必要な方
- ✳ 看取り期の方（末期のがんや老衰など）
 - ご自宅、看多機事業所内での看取り
- ✳ ご家族の介護相談や支援

■ 愛貴がめざしていくこと

看多機は、「可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続ける」という地域包括ケアシステムを実現するために、まさに時代が求める機能だといえます。しかし、沖縄県の看多機事業所数は7か所と少なく、機能と役割の周知はまだまだと感じています。

地域密着型サービスとして、利用者と家族そして地域から頼られる看多機となるよう、看護職員や介護職員、事務員、ケアマネジャーが協働し、職員一同これからの「愛貴」の強みを確立し、共に仕事を愉しみながら、笑いがたえない安心できる場を提供できるよう精進してまいります。

訪問看護ステーションなかがみ

看護師がご自宅へ伺い在宅療養をサポートします



■ 訪問看護でできること

近年、「病気や障がいがあっても、住み慣れた家で暮らしたい」「人生の最期を自宅で迎えたい」と望まれる方が増えています。そんな時に頼りになるのが訪問看護です。訪問看護の強みは、地域で暮らす赤ちゃんから高齢者まで全ての年代の方に、関係職種と協力しあって、一人ひとりに必要な支援が行えるところです。

訪問看護では、看護師がお宅に訪問し看護を行います。健康状態の悪化防止や、回復に向けて支援します。また、主治医の指示を受け、病院と同じような医療処置も行います。病院での看護とは違い、常にそばにいるわけではありません。だからこそ、直接的な医療処置だけでなく、この先の変化を予測し、さまざまな職種の方々と連携し、その方らしい療養生活を考えながら、セルフケア支援・指導、疾患指導などの支援を行います。

■ なかがみが目指していくこと

当ステーションは、2000年に看護師3名で開設しました。以来、少しずつ仲間を増やし、現在、看護職員10名セラピスト1名で利用者120名を訪問しています。ターミナル期をはじめとする医療ニーズの高い利用者が多いことが特徴です。また、特定行為研修修了看護師（特定行為研修を経て高度な知識や判断力を有すると認められた看護師、医師の指示書をもとに必要に応じて処置を行うことができる）が在籍し、医療的処置も可能です。中頭病院やちばなクリニックの認定看護師へケアの相談や、外来・病棟看護師と情報共有がすぐにできることで、切れ目のないサービス提供とケアの連続性が保たれ、退院したあとも、安心してご自宅での療養生活に移行できることが強みと考えます。私たちは、利用者の「家に帰りたい」思いを叶えるために、どんな療養生活を望んでいるのかを把握し、その方にとって一番良い在宅療養のカタチを見つけていきます。これからも「地域から選ばれる訪問看護ステーション」を合言葉に、心に届く看護の提供を目指していきます。



所長 佐久田 恵

介護付き有料老人ホーム なかがみ苑



※ イメージ

可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう沖縄県の介護保険指定を受けた「介護付き有料老人ホーム」です。60部屋（全個室）有り、認定を受けた方が入居します。

施設の基本方針の3本柱を掲げ、その人らしい暮らしをかなえるためのケアを実践します。

施設の基本方針の **3** 本柱

- ① できるだけこれまでの生活ができる生活継続
- ② 利用者の意思を尊重した自己決定支援
- ③ 残存機能を活かした生活支援

訪問歯科診療、夜間24時まで看護師を配置し体調不良時には、有床診療所での診察（日中）、急性期治療が必要な場合は、同法人の中頭病院・ちばなクリニックと連携し、ご入居の皆さまが我が家と変わらず快適に住み続けられるようチームで取り組みます。



管理者 玉城 朱美

居宅介護支援事業所 なかがみ

こんなことで困っていたら
介護保険がお役に立ちます

最近、父の
物忘れが気になる

介護サービスの
ことが知りたい

運動をして
以前のように
活動したい

一人暮らしの
母の足腰が
弱ってきた

介護が大変に
なってきた



介護保険サービスの手続き・援助を行います

当事業所は、地域の皆さまに「住み慣れた環境」で「安心」した在宅での生活を介護保険制度の基でサポートする、特定事業所として 24 時間・365 日体制で在宅支援を行っています。2002 年 10 月に事業を開始し、今年で 20 年目を迎えます。

社会医療法人敬愛会を母体として、豊富な経験、知識と技術を兼ね備えた、ケアマネジャーが地域の皆さまからのご相談を承っています。急性期病院併設、という特徴を有し、医療依存度の高い利用者への対応や入院時など、早期から医療機関や訪問看護ステーションとのスムーズな連携が強みです。また、地域の皆さまが安心して生活できるようネットワーク・ケアマネジメント体制の構築など社会福祉活動へ積極的に参加し、地域の社会資源の質の向上および、発展に働きかけています。

沖縄県は 65 歳以上の人口が 21%を超える「超高齢社会」に突入しており、2025 年は県人口の 4 人に 1 人が高齢者になると推測されています。高齢人口の増加に伴い、認知症高齢者・独居高齢者・高齢者世帯の増加も見込まれ、緊急時の対応や見守り支え合う活動のほか、関係機関や地域を含めたネットワークの構築が課題です。今後、ますますケアマネジャーが専門職として果たす役割は大きく、医療との連携が強く求められています。

急性期・回復期からの退院・退所支援による、医療と介護の連携強化およびターミナルケアマネジメント（ターミナルケア:末期がん患者などが数ヶ月の余命を平穏に暮らすためのケア）の実施による、在宅医療との連携強化に取り組んでいきます。



管理者 金城 三智代

information

新任医師(令和4年1月)



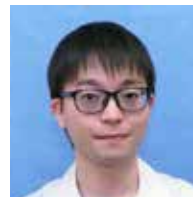
心臓血管外科
メルリーニ ミケアンドゥルー

よろしくお願いします。



内科
仲底 優吾
(なかそこ ゆうご)

患者さんに寄りそう医療に
努め、少しでも地域医療に貢
献できるように頑張ります。
よろしくお願いします。



内科
岡本 卓磨
(おかもと たくま)

患者さんに寄り添った医
療を提供し、地域に貢献
できるよう頑張ります。



放射線科
金城 彰汰
(きんじょう しょうた)

放射線科の金城です。直接
関わることは少ないと思
いますが、地域の皆様の役
に立てよう頑張りたいと思
います。

ギャラリーなかがみ 中頭病院1F ※ スケジュールは、都合により変更になる場合がございますので予めご了承ください

南恩納折り紙サークル作品展

期 間 令和4年2月1日(火) ~ 2月28日(月)



美味しい!ヘルシー!バレンタインレシピ 豆腐ティラミス

栄養部 平良 梨里香 (管理栄養士)



材 料 100mlカップ 3個分

絹ごし豆腐 ……1/2丁 (140g)
レモネード粉末 ……25g
(レモン汁20ml+砂糖25gで代用可)
生クリーム ……80ml
ビスケット ……3枚
濃いめのブラックコーヒー 30cc
ココアパウダー ……適量

今回は通常のティラミスよりも低カロリー・低脂肪の豆腐ティラミスのレシピを紹介します。ティラミスに使用されるマスカルポーネチーズは100gあたり293kcal、脂質が28.2g含まれます。それに比べ、絹ごし豆腐は100gあたり56kcal、脂質3.0gですので、マスカルポーネチーズの代わりに豆腐を使用することで、1個あたり約100kcal、脂質も約5g抑えることができます。

また、豆腐の原料である大豆は「畑の肉」といわれるように、良質のたんぱく質を多く含み、ビタミンやミネラルもバランスよく含まれているためたんぱく質補給源としてよい食品です。

作り方 1人分: 約172kcal たんぱく質2.9g 脂質12.4g 糖質12.2g

- ① 絹ごし豆腐を半分ぐらいの厚さになるまでしっかり水切りする
- ② ①にレモネード、生クリームを加え、なめらかになるまでよく混ぜ合わせる
- ③ カップの底にコーヒーをくぐらせたビスケットを敷き、②をのせる
- ④ 冷蔵庫で1時間以上冷やす
- ⑤ 仕上げに茶こしでココアパウダーを振りかける



社会医療法人敬愛会 理念

良質な医療を地域に提供 ホスピタリティ精神に徹する 経営基盤の安定化 職場は学びと創造の場